カトリック幟町教会報
平和の鐘
2019年
12月
No.500

恵みあふれた年

バート神父

11月24日、私たちは教皇フランシスコを歓迎しました。教皇訪日のテーマは「すべての生命を守るため」です。 教皇様は、次世代のために、環境を守り、核兵器が二度と使われないようにという広島市民の祈願に共通します。

いろんな宗教代表者と共に、広島平和公園で行われた「平和の集い」では、教皇様は「過去のこと、特に戦争の教訓を忘れずに平和のために働きましょう」と強調しました。

教皇フランシスコの3日間の訪日、特に来広は大成功でした！

セキュリティ上の理由により、一定数の人々のみが教皇様との集まりに参加することが許可されましたが、教会が準備した応援活動（ロサリオ、募金、ボランティア等）に協力してくださって、心から感謝を申し上げます。教皇様を自分の目で見たかったが、見られなかった方々に心から謝罪します。スピーチの中で、教皇様は 日本にいる私たちと私たちの家族が祝福されますようにと祈りました。ですから、教皇様を直接に見たことがなくても、教皇様が無事で日本を訪れたという事実は、すでに私たち全員にとっては真の祝福です！ 教皇フランシスコの健康のために祈り続けましょう。

写真：
http://asianews.it/news-en/Hibakusha:-From-the-cruel-memory-of-Hiroshima-to-the-smile-of-Pope-Francis-48675.html

そして、教皇を歓迎した後、私たちは救い主イエス・キリストを幼児として歓迎します。カラフルなイルミネーションといろんな飾りによるクリスマスの準備は、どこでも見られます。しかし、忘れないでください、イエスが私たちに望んだ最も準備が必要なのは、心の準備です。私たちを傷つけた人々を許し、 傷つけた人から赦しを求め、貧しい人にお恵みを分かち合い、病人をお見舞いすることによって、私たちの心を準備するのです。

今年は、3 年間を掛けたカテドラルのメンテナンス工事も完了しました。私たちの祈りの場を安全にするために、一生懸命働いてくださったすべての人、恩人、エンジニア、労働者などに心から感謝します。

皆様の今年のすべての助けに、誠にありがとうございました！ 幼児幼きイエスの祝福がこのクリスマスと来年、あなたと、あなたの家族と共にいつもありますように祈りを致します！ メリークリスマス！

500 号を祝して

元広報部員　YK
（エリザベト音楽大学理事長・学長）

カトリック幟町教会報『平和の鐘』500 号達成、誠におめでとうございます。ここに至るまで継続できたのは、編集チームはもちろんですが、読者の役割も大きいと思います。

ここに 1989 年 6 月号（176 号）があります。4 頁の「広報部より」には、教会の呼びかけに応えて、広報部に新たな部員が入り 9 人となり、当時の部員の名前が列挙され、私の名前もありました。広報部に所属してから、私は教会各所の情報を集めるために奔走したことを思い出します。会議に出席して議事録を作成し、行事では写真を撮り、身近にいる方々に原稿執筆の依頼をしまくりました。200 号（1991 年 4 月）では、創刊に関わった方々に、主任司祭に発刊の許可を交渉した経緯、『心のともしび』の余白に手書き印刷をしたこと、題字とスケッチのタイトルの裏話ほかをお書きいただきました。

信徒が信仰について深めることを願い、連載物もお願いしました。原稿料は当然ありません。皆さんが快く執筆してくださり感謝に堪えません。長谷川儀神父様はちょうど 200 号から 300 号まで「ミサの中でキリストにお会いしたいですか」を、深堀升治神父様は信仰生活について、掲載途中で帰天されたチースリク神父様には広島教区の歴史について執筆していただきました。

私自身が調べて原稿を書くこともありました。先日Nさんから私の書いた葬儀に関する記事（92 年 11 月）を今でも持っていることを伺い、驚きました。ひと月はあっという間に過ぎ、常に次号（次次号）のことを考えていました。

結果として私が『平和の鐘』の編集に関わったのは、1989 年 5 月号（177 号）から 1999 年 8 月号（300 号）あたりまでではないかと思います。当時は B5 サイズで毎月発行、全 4 頁から多い時で 12 頁、通常は 6 頁か 8 頁であることが多かったです。2000 年 5 月号（309 号）からは A4 サイズに大きくなり、体裁も編集方針もだいぶ変わったなあと感じました。

その後の編集チームの様子はよくわからないのですが、隔月に減らしつつも 500 号を迎えることができたのですから、皆さんのご尽力に心より敬服する次第です。600 号へ向けて毎号楽しみにしています。

500 号を迎えた広報部の思い

広報部長

前号の編集中に、今月 500 号になることに気づきました。現在、広報部は 4 人。とはいうものの、3 人はそれぞれ他の役割を兼務しており、広報のためにあまり時間を割くことができません。私自身も土・日曜日が休みでないため、教会行事に携わることができず、編集作業のみ行っている状態で、体制としては十分とはいえませんが、できる範囲で続けさせていただいています。

4 人の理想とする広報は、信仰について分かち合えることです。皆さんが現在思っていること、悩んでいること、現実の生活と信仰とのギャップなど…。いろいろな人の思いを知り、受け入れ、共有し、信仰の仲間として、家族として絆を強めていくためのお手伝いができればと思っています。

そのために、ぜひ皆さまの思いを言葉にしてお寄せいただければと願っています。

よろしくお願いします。

よろしくお願いします
聖体授与の臨時の奉仕者に任命された方々です

ＨＴ

このたび、聖体授与の臨時の奉仕者を拝命いたしました竹内です。“ご聖体に奉仕できる”ことは大きな喜びと同時に、信徒として身が引き締まる思いです。

「聖体は、信者の共同体に救いをもたらすキリストの現存であり、共同体の霊的な糧で」 あり、「イエス・キリストがご自身を与えたたまものです」。

聖体授与の臨時の奉仕者の任務は、通常の奉仕者（司祭・助祭）を助け、①ミサに来られない病者や高齢者に聖体を運ぶこと、②ミサの中で聖体を授与する奉仕です 。

これらの奉仕が神様の御心に適うものとなるよう、もし私に「非難される点が」 あるようでしたら、皆さま、指導・助言をしていただき、同時に、奉仕が神様のみ旨のとおり行えるようにとお祈りをお願いします。

ＹＭ

４年前に前任主任司祭でおられたヴィタリ神父から打診されましたが仕事の都合で講習を受けられずにいました。この度、ようやく聖体奉仕者の任命を受けられました。

その間、聖体奉仕について祈りながら自分自身の望みがどれほどのものかを顧みていました。ところが、自分の希望も始まりではありますが、ヴィタリ神父を通したキリストからの招きであることに気づきました。この呼びかけに答える「はい」を言えた時、お恵みに導かれる喜びで満たされました。

時間の経つごとに未熟な私がご聖体の奉仕に招かれたことの大きさに身の引き締まる思いをしておりますが、招かれ答えたのなら導かれると奉仕を通してキリスト者である確信を深める経験となりますよう、皆様からのお祈りをお願いいたします。

ＣＵ

荻神父様から任命書を受け取るときに、洗礼名を付した名前で呼ばれ、なぜかドキッとしました。最近の教会生活でそう呼ばれることがほとんどなく、いつのまにか洗礼名を意識しないことに慣れきっていました。これは、そんな私を見かねた神様の心優しい警告だと気が付きました。（神様は何でもお見通し！）

私の洗礼名は「テレジア」、　小さき花のテレジアのように自分の弱さ、小ささを神の恵みとして受け入れ、神様を愛して全てを委ねて信仰のうちに生涯を捧げたいと思います。

聖体授与の臨時の奉仕をさせていただくにはあまりにも不勉強で未熟ですが、先輩方に教えを請い、心を込めて務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

クリスマスと新年のミサ

クリスマス夜半　　手話通訳付き

12 月 24 日(火)

第 1 ミサ　18:00～（エリザベト音大聖歌隊）

第 2 ミサ　20:00～(聖歌隊)

第 3 ミサ　12 月 25 日(水) 0:00～(英語ミサ)

クリスマス

12 月 25 日(水)

日中ミサ　10:00～(日本語)

19:00～(英語)

年末ミサ

12 月 31 日(火)

祈りの集い　23:00～

一年を思い起こして感謝しましょう

年始ミサ

1 月 1 日(水)

神の母聖マリア祭日・世界平和の日

平和祈願ミサ　0:00～、11:00～(日本語)

19:00～（英語）

サント・ニーニョのお祝いミサ

1 月 19 日(日) 7:30～、9:30～

（14:30 からのミサはありません）

10 月 6 日の家族デーでのスナップ。今年は、朝のミサが各国語で行われ、国際的で華やかな一日になりました。

編集後記

500 号達成“編集長歴代”

先日、Uさんが亡くなられた。香部屋の事、入門講座のお世話、聖歌隊等々、数々の奉仕を下さる中でも『平和の鐘』の創刊から 180 号近くまではほとんど内海さんの手によるものだった。次はKさん。外国に赴任の最中も途切れることなく編集を続けて下さった。そして現在のさん。約半世紀の歴史は偉大なり。(の)

カトリック幟町教会

〒730-0016　広島市中区幟町 4 番 42 号
電話　082-221-0621
ファクス　082-221-8486
ホームページ　http://noboricho.catholic.hiroshima.jp

ミサの時間

日曜日　7:30、9:30、14:30～（英語）
第 1 日曜日　15:00（ポルトガル語）
第 4 日曜日　11:00（ベトナム語）
月の最後の日曜日　17:00（スペイン語）
平日　7:00　　金曜日　7:00、10:00
土曜日 7:00、18:00（主日）

主任司祭　荻 喜代治 神父
助任司祭　バート神父（淳心会）

シスター　小野島照子（援助修道会）